

会 議 録

会議名	第2回市民憲章見直し検討委員会		
事務局(担当課)	総合政策部 行政経営室 経営改革課		
開催日時	平成28年7月13日(水) 18時30分から20時10分		
開催場所	市役所4階 庁議室		
出席者	委員	新川達郎、平岡けいこ、藏原亜紀、松尾幸恵、三井ハルコ、武内秀男、加門文男、後藤正順、佐々木史恵、真鍋静香	
	その他		
	事務局	松木総合政策部長、作田行政経営室長、志波経営改革課長、的場経営改革課長補佐、八尾主査、山田	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	(1)開会 (2)議事 (3)その他 (4)閉会		
会議結課	別紙審議経過のとおり		

審議経過

発言者	発言内容等
	【事務局説明】
委員	3番の本文で、「市民の皆さまと協働し」というのは行政から住民を見ている表現なので、おかしいのではないかと。
会長	この市民憲章をいったい誰が、誰に対して、どういう目的で掲げるのかというところは大事かもしれない。
委員	資料1を見て、前文を設けるかどうかで、かなり内容がかたくなったり、やわらかくなったりしている。前文は、個人的にあまり必要ないのではないかと気がする。
委員	文章が短くて、文字を読むのが得意ではない人にも受け入れられやすいので、2番がいいと思った。
委員	2番の本文の並び方は変えてもいいと思った。ハード的なものやにぎわいといったことを言った後で、ソフト的なことを言った方が良いのではないかと。文の数を絞って、余韻を残せるものがないのではないかと。
委員	2番がコンパクトにまとまっていて良いと思う。最後の語尾は、「～しましょう」という形もありではないかと思う。
委員	4番がいいと思う。短歌のリズムになっていて、読みやすいので、学校などでも唱えられるのではないかと。
委員	4番は、内容がばらばらしていて、全体のまとまりがないのではないかと。
委員	2番目は、「まち」と体言止めになっていていいと思ったが、少し短くて、もの足りないような気がした。前文も、イメージや言葉が重なるところは、分かりやすくなるので、そぎ落とした方がいい。「私たち市民は～」でもいいような気もする。
委員	前文があった方がいいと思う。ただし、始めの「川西市は～」というのは、行政目線になるような気がするので、「私たち市民は～」という書き出しにしたほうが良いのではないかと感じている。
委員	「我々から～したい」という形の前文であれば、前文があった方がいいと思う。
委員	みんなが声をそろえて唱えているところがイメージできるものがないのではないかと。
委員	(持参した案について)イメージが重なるところを短くひとつの言葉にした。ですます調を強い感じにした。2つ目は、語尾は語呂がいい感じになるよう体言止めに

発言者	発言内容等
	している。
委員	今出していただいた案の中に、平和という言葉が両方とも入っているので、いいと思った。また、共生という言葉が好きでいいと思った。
委員	子どもたちがはたして理解できるのかと思いましたが、いかがでしょうか。
委員	漢字で書いているので、ひらがなにすると、やわらくすることができる。
委員	ひらがなにすると意味がわからなくなるのでは。漢字だからこそ理解できるところもあるのでは。
委員	そのようなことはない。そんなに難しい言葉は使っていないので。子どもたちが歌う校歌にも難しい言葉が入っているし、ざっくりとわかれば大丈夫ではないか。
会長	ひらがなバージョンも作ってみないといけないかもしれない。
委員	この難しい漢字だけをひらがなに置き換えたらいいのではないか。
委員	2番の「子どもたち」を「若人」とか「若者」に変えると、意味合いが違ってくるのか。
委員	受けるイメージが違ってくる。「子ども」というと小さい子どもをイメージしてしまうので、大きくは変わらないが、「若者」にしてもちょっとイメージが大人っぽくなるだけで、未来を託すというニュアンスになると思う。
委員	前文に「郷土愛」とあるが、これは当たり前のことなので、1番のように入れる必要はないように思う。
委員	前文の「郷土愛を胸に抱き」を省いて、「私たち市民は、あんばいええまちをつくるため～」で十分であると思ったがいかがでしょうか。
委員	賛成である。すっきりとしていて覚えやすい。
委員	文章の中で「清和源氏」とあるが、「清和」まで入れる必要があるのか。「清和」まで入れると固くなってしまう感じがする。
事務局	市の方で紹介する時には、清和天皇からということで、「清和源氏」と特定した言い方をしている。先ほど見てもらった市歌では、「源(みなもと)」という形で、特に清和というところには、触れていないということもある。
会長	そんなにがっちり考える必要はないかもしれない。
委員	川西市は南北に細長く、「源氏」も「里山」も北部に属している。南部の言葉は、

発言者	発言内容等
	<p>何かないか。全域を網羅しているような言葉はないか。</p>
委員	<p>憲章なので、これからをどうしようかというものであるから、地域にこだわる必要はないのではないか。</p>
委員	<p>前文は、「私たちは、あんばいええまちをつくるため、ここに幸せ憲章を定めます」のように、シンプルなものが良いのでは。</p>
委員	<p>「あんばいええまち」が何十年ももつのか、少し疑問である。</p>
委員	<p>市民憲章は未来永劫のものではなく、今回のように時代にあった見直しはどこかで必要ではないか。</p>
委員	<p>先ほどの前文、サンプルの2の本文に賛成である。4つ目の「豊かな自然を守り、心安らぐまち」、5つ目の「にぎわいと活気にあふれるまち」を前にもってきてはどうか。</p>
委員	<p>「かわにし」を頭にするのにこだわり過ぎると、難しいかもしれない。</p>
委員	<p>特産品の文言を入れるのは、難しいように思う。</p>
委員	<p>体言止めは、短くてわかりやすい。</p>
委員	<p>できるだけ柔らかい表現が良い。</p>
委員	<p>2番の3つ目の「いきいきと笑顔が輝くまち」は、2つ目の「子どもたちの希望に満ちたまち」か、5つ目の「にぎわいと活気にあふれるまち」に併せることができるのでは。4つにまとめると、シンプルになる。</p>
委員	<p>「平和」、「共生」の言葉は良いと思う。ただ、表現が少し難しいようにも思う。</p>
委員	<p>「かわにし」を頭にシンプルにすることもできるのではないか。「か」は「輝く」のほかに、「語り合う」なども考えられる。</p>
委員	<p>パブコメで内容変更を含む意見が、多数出た場合は、本文を練り直すことも考えられるのか。市民憲章なので、市民参画のプロセスは重要である。</p>
会長	<p>場合によっては、練り直すことも考えられる。</p>
委員	<p>社訓のように、唱和できるようなものが良い。例えば、コミュニティの会合で毎回唱和できるようなものを。</p>
委員	<p>漢字よりもひらがなの方がなじみやすく、柔らかくなる。</p>

発言者	発言内容等
委員	みんなに覚えてもらえるような、できるだけ短い文章が良い。
委員	「育む」は力強く、あたたかい言葉で、ぜひ入れてもらえれば。
委員	委員の「あんばいええまち」を頭にする案は、短くシンプルで覚えやすい。
会長	いただいたご意見をまとめると、2番の本文の5つを4つにして順番を入れ替え、「かわにし」を頭にするものとししないもの、漢字とひらがな、単語の入替など、いくつかの案ができると思う。それぞれの案を掛け合わせて、事務局でもうひと工夫して作成願いたい。
事務局	今回いただいたご意見を踏まえて、事務局でサンプルを作成する。